

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410009	X-33-B-2-410009	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
担当教員				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報システム演習 2 (J1)	近山 英輔・河原 和好			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	2年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。
 情報システム演習 2 では、情報システムを開発するために必要な数量的なデータ解析の仕方と、コンピュータと通信技術について Web サイト作成を通して基本的な内容を具体的に学習する。
 まず、Web の仕組みを理解し、実際に HTML とスタイルシート (CSS) を用いて Web ページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScript によるプログラミングを取り入れた Web サイト作成を行う。さらにフォームを用いた Web サイト作成についても学習する。
 データの解析については、平均の検定、分散分析について学ぶ。

各回の授業内容

第 1 回 【授】 研究室配属に関する説明、および、システム演習 2 のイントロダクション 【前・後】 事後：各自で復習する (1 時間)。 第 2 回 【授】 D 分野：HTML (1)：HTML の説明、基本タグの使い方 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 3 回 【授】 D 分野：HTML (2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 4 回 【授】 D 分野：CSS (1)：CSS の説明、基本的なスタイルの使い方 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 5 回 【授】 D 分野：CSS (2)：span と div タグ 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 6 回 【授】 D 分野：CSS (3)：id と class 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 7 回 【授】 D 分野：JavaScript (1)：JavaScript の説明、プログラミングの基礎の説明 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 8 回 【授】 D 分野：JavaScript (2)：分岐と繰り返し 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。	第 9 回 【授】 D 分野：JavaScript (3)：関数とイベント 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 10 回 【授】 D 分野：フォーム (1)：フォームの説明、フォームの作り方 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 11 回 【授】 D 分野：フォーム (2)：JavaScript からフォームの利用 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 12 回 【授】 D 分野：Web サイト作成：これまで学習した内容をふまえ、各自で Web サイトを作成する 【前・後】 事前：各自 Web サイトの構想を考える。事後：各自の Web サイトを完成させる。合計 1 時間。 第 13 回 【授】 D 分野：作成した Web サイトの発表：各自で作成した Web サイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する。 【前・後】 事前：発表の準備。レポート作成。1 時間。 第 14 回 【授】 B 分野：一对の標本による平均の検定 【前・後】 事後：t 値の求め方、有意水準の考え方を復習しておく。 第 15 回 【授】 B 分野：分散分析 【前・後】 事後：分散分析を復習しておく。 第 16 回 【授】 なし
---	---

成績評価方法

分野ごとでは、次のように D 分野部分は 85%、B 分野部分は 15% の割合で成績を評価する。
 D 分野：小テスト・授業内レポート 25%、宿題・授業外レポート 15%、成果発表 20%、演習 25%
 B 分野：小テスト・授業内レポート 5%、宿題・授業外レポート 5%、演習 5%

教科書・参考書

テキストを配布する。

受講に当たっての留意事項

各授業の実施順序は、クラスによって変わることがある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング (ディスカッション、グループワーク、発表 等) の実施
×		○

学習到達目標

- 1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける (レポートおよび作成した Web サイトにより評価)
- 2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける (演習時に提出する課題により評価)

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
410009	X-33-B-2-410009	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
情報システム演習 2 (J2)	近山 英輔・石川 洋			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	
				【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	2年	
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
			【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。
 情報システム演習 2 では、情報システムを開発するために必要な数量的なデータ解析の仕方と、コンピュータと通信技術について Web サイト作成を通して基本的な内容を具体的に学習する。
 まず、Web の仕組みを理解し、実際に HTML とスタイルシート (CSS) を用いて Web ページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScript によるプログラミングを取り入れた Web サイト作成を行う。さらにフォームを用いた Web サイト作成についても学習する。
 データの解析については、平均の検定、分散分析について学ぶ。

各回の授業内容

第 1 回 【授】 研究室配属に関する説明、および、システム演習 2 のイントロダクション 【前・後】 事後：各自で復習する (1 時間)。 第 2 回 【授】 D 分野：HTML (1)：HTML の説明、基本タグの使い方 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 3 回 【授】 D 分野：HTML (2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 4 回 【授】 D 分野：CSS (1)：CSS の説明、基本的なスタイルの使い方 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 5 回 【授】 D 分野：CSS (2)：span と div タグ 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 6 回 【授】 D 分野：CSS (3)：id と class 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 7 回 【授】 D 分野：JavaScript (1)：JavaScript の説明、プログラミングの基礎の説明 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 8 回 【授】 D 分野：JavaScript (2)：分岐と繰り返し 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。	第 9 回 【授】 D 分野：JavaScript (3)：関数とイベント 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 10 回 【授】 D 分野：フォーム (1)：フォームの説明、フォームの作り方 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 11 回 【授】 D 分野：フォーム (2)：JavaScript からフォームの利用 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。 第 12 回 【授】 D 分野：Web サイト作成：これまで学習した内容をふまえ、各自で Web サイトを作成する 【前・後】 事前：各自 Web サイトの構想を考える。事後：各自の Web サイトを完成させる。合計 1 時間。 第 13 回 【授】 D 分野：作成した Web サイトの発表：各自で作成した Web サイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する。 【前・後】 事前：発表の準備。レポート作成。1 時間。 第 14 回 【授】 B 分野：一对の標本による平均の検定 【前・後】 事後：t 値の求め方、有意水準の考え方を復習しておく。 第 15 回 【授】 B 分野：分散分析 【前・後】 事後：分散分析を復習しておく。 第 16 回 【授】 なし
---	---

成績評価方法

分野ごとでは、次のように D 分野部分は 85%、B 分野部分は 15% の割合で成績を評価する。
 D 分野：小テスト・授業内レポート 25%、宿題・授業外レポート 15%、成果発表 20%、演習 25%
 B 分野：小テスト・授業内レポート 5%、宿題・授業外レポート 5%、演習 5%

教科書・参考書

テキストを配布する。

受講に当たっての留意事項

各授業の実施順序は、クラスによって変わることがある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング (ディスカッション、グループワーク、発表 等) の実施
×		○

学習到達目標

- 1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける (レポートおよび作成した Web サイトにより評価)
- 2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける (演習時に提出する課題により評価)

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410009	X-33-B-2-410009	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報システム演習 2 (J3)	上西園 武良 河原 和好			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	2年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
授業目的							
<p>情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。</p> <p>情報システム演習 2 では、情報システムを開発するために必要な数量的なデータ解析の仕方と、コンピュータと通信技術について Web サイト作成を通して基本的な内容を具体的に学習する。</p> <p>まず、Web の仕組みを理解し、実際に HTML とスタイルシート (CSS) を用いて Web ページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScript によるプログラミングを取り入れた Web サイト作成を行う。さらにフォームを用いた Web サイト作成についても学習する。</p> <p>データの解析については、平均の検定、分散分析について学ぶ。</p>							
各回の授業内容							
<p>第 1 回 【授】 研究室配属に関する説明、および、システム演習 2 のイントロダクション 【前・後】 事後：各自で復習する (1 時間)。</p> <p>第 2 回 【授】 D 分野：HTML (1)：HTML の説明、基本タグの使い方 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 3 回 【授】 D 分野：HTML (2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 4 回 【授】 D 分野：CSS (1)：CSS の説明、基本的なスタイルの使い方 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 5 回 【授】 D 分野：CSS (2)：span と div タグ 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 6 回 【授】 D 分野：CSS (3)：id と class 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 7 回 【授】 D 分野：JavaScript (1)：JavaScript の説明、プログラミングの基礎の説明 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 8 回 【授】 D 分野：JavaScript (2)：分岐と繰り返し 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p>				<p>第 9 回 【授】 D 分野：JavaScript (3)：関数とイベント 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 10 回 【授】 D 分野：フォーム (1)：フォームの説明、フォームの作り方 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 11 回 【授】 D 分野：フォーム (2)：JavaScript からフォームの利用 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 12 回 【授】 D 分野：Web サイト作成：これまで学習した内容をふまえ、各自で Web サイトを作成する 【前・後】 事前：各自 Web サイトの構想を考える。事後：各自の Web サイトを完成させる。合計 1 時間。</p> <p>第 13 回 【授】 D 分野：作成した Web サイトの発表：各自で作成した Web サイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する。 【前・後】 事前：発表の準備。レポート作成。1 時間。</p> <p>第 14 回 【授】 B 分野：一対の標本による平均の検定 【前・後】 事後：t 値の求め方、有意水準の考え方を復習しておく。</p> <p>第 15 回 【授】 B 分野：分散分析 【前・後】 事後：分散分析を復習しておく。</p> <p>第 16 回 【授】 なし</p>			
成績評価方法							
<p>分野ごとでは、次のように D 分野部分は 85%、B 分野部分は 15% の割合で成績を評価する。</p> <p>D 分野：小テスト・授業内レポート 25%、宿題・授業外レポート 15%、成果発表 20%、演習 25%</p> <p>B 分野：小テスト・授業内レポート 5%、宿題・授業外レポート 5%、演習 5%</p>							
教科書・参考書							
テキストを配布する。							
受講に当たっての留意事項							
各授業の実施順序は、クラスによって変わることがある。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング (ディスカッション、グループワーク、発表 等) の実施
×							○
学習到達目標							
1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける (レポートおよび作成した Web サイトにより評価)							
2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける (演習時に提出する課題により評価)							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：E							

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410009	X-33-B-2-410009	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報システム演習 2 (J4)	上西園 武良, 中田 豊久			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	2年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
授業目的							
<p>情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。</p> <p>情報システム演習 2 では、情報システムを開発するために必要な数量的なデータ解析の仕方と、コンピュータと通信技術について Web サイト作成を通して基本的な内容を具体的に学習する。</p> <p>まず、Web の仕組みを理解し、実際に HTML とスタイルシート (CSS) を用いて Web ページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScript によるプログラミングを取り入れた Web サイト作成を行う。さらにフォームを用いた Web サイト作成についても学習する。</p> <p>データの解析については、平均の検定、分散分析について学ぶ。</p>							
各回の授業内容							
<p>第 1 回 【授】 研究室配属に関する説明、および、システム演習 2 のイントロダクション 【前・後】 事後：各自で復習する (1 時間)。</p> <p>第 2 回 【授】 D 分野：HTML (1)：HTML の説明、基本タグの使い方 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 3 回 【授】 D 分野：HTML (2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 4 回 【授】 D 分野：CSS (1)：CSS の説明、基本的なスタイルの使い方 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 5 回 【授】 D 分野：CSS (2)：span と div タグ 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 6 回 【授】 D 分野：CSS (3)：id と class 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 7 回 【授】 D 分野：JavaScript (1)：JavaScript の説明、プログラミングの基礎の説明 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 8 回 【授】 D 分野：JavaScript (2)：分岐と繰り返し 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p>				<p>第 9 回 【授】 D 分野：JavaScript (3)：関数とイベント 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 10 回 【授】 D 分野：フォーム (1)：フォームの説明、フォームの作り方 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 11 回 【授】 D 分野：フォーム (2)：JavaScript からフォームの利用 【前・後】 事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。</p> <p>第 12 回 【授】 D 分野：Web サイト作成：これまで学習した内容をふまえ、各自で Web サイトを作成する 【前・後】 事前：各自 Web サイトの構想を考える。事後：各自の Web サイトを完成させる。合計 1 時間。</p> <p>第 13 回 【授】 D 分野：作成した Web サイトの発表：各自で作成した Web サイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する。 【前・後】 事前：発表の準備。レポート作成。1 時間。</p> <p>第 14 回 【授】 B 分野：一対の標本による平均の検定 【前・後】 事後：t 値の求め方、有意水準の考え方を復習しておく。</p> <p>第 15 回 【授】 B 分野：分散分析 【前・後】 事後：分散分析を復習しておく。</p> <p>第 16 回 【授】 なし</p>			
成績評価方法							
<p>分野ごとでは、次のように D 分野部分は 85%、B 分野部分は 15% の割合で成績を評価する。</p> <p>D 分野：小テスト・授業内レポート 25%、宿題・授業外レポート 15%、成果発表 20%、演習 25%</p> <p>B 分野：小テスト・授業内レポート 5%、宿題・授業外レポート 5%、演習 5%</p>							
教科書・参考書							
テキストを配布する。							
受講に当たっての留意事項							
各授業の実施順序は、クラスによって変わることがある。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性					アクティブラーニング (ディスカッション、グループワーク、発表 等) の実施	
×						○	
学習到達目標							
1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける (レポートおよび作成した Web サイトにより評価)							
2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける (演習時に提出する課題により評価)							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：E							

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習